



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシイ株式会社
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,775	67.9	215	—	228	—	△133	—
27年3月期第3四半期	10,587	5.3	△295	—	△52	—	△61	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △167百万円 (ー%) 27年3月期第3四半期 25百万円 (△98.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△14.91	—
27年3月期第3四半期	△6.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	35,155	13,429	37.5
27年3月期	24,707	13,767	54.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 13,175百万円 27年3月期 13,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	59.4	800	1.7	720	△25.5	360	△43.7	40.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,674,587株	27年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	745,801株	27年3月期	755,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,925,669株	27年3月期3Q	8,919,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きを実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用回復を背景に個人消費が堅調に推移し、景気は回復基調で推移しました。欧州では量的緩和の継続に支えられ、景気は底堅く推移しました。一方で、中国における減速感の強まりや、欧州・中東における地政学的リスクの高まり、原油価格の著しい下落等により世界経済の下振れ懸念が広がり、総じて先行き不透明な状況で推移しました。

日本経済においては、中国の景気減速等の影響から、これまでの円安、株高基調に陰りが見られはじめ、一進一退の状況で推移しました。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高177億75百万円（前年同四半期比67.9%増）、営業利益2億15百万円（前年同四半期は営業損失2億95百万円）、経常利益2億28百万円（前年同四半期は経常損失52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億33百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(ディスプレイ関連事業)

スマートフォンやタブレット端末向けの液晶加熱装置が牽引し、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は106億94百万円（前年同四半期比75.4%増）となり、セグメント利益は1億4百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

(メカトロニクス関連事業)

電力自由化に伴う電力会社向けの設備投資需要が大幅に伸び、また、テストハンドラー装置の大口需要にも支えられ、業績は好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は59億96百万円（前年同四半期比65.3%増）となり、セグメント利益は3億92百万円（前年同四半期はセグメント損失11百万円）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野では、顧客需要を確実に取り込み、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は10億84百万円（前年同四半期比25.7%増）、セグメント利益は1億13百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は269億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億59百万円増加しました。主な増加は、仕掛品40億47百万円、受取手形及び売掛金31億81百万円、商品及び製品3億1百万円、原材料及び貯蔵品2億86百万円、繰延税金資産（短期）1億28百万円であり、主な減少は、有価証券9億47百万円、現金及び預金1億58百万円であります。固定資産は81億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億89百万円増加しました。主な増加は、投資有価証券10億円、のれん7億76百万円、土地4億66百万円、機械装置及び運搬具（純額）4億48百万円であります。その結果、総資産は351億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億48百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は178億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ108億91百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金67億31百万円、短期借入金39億38百万円、未払費用1億80百万円、前受金1億3百万円であり、主な減少は、1年内償還予定の社債3億円であります。固定負債は38億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少しました。主な増加は、社債3億円、退職給付に係る負債1億68百万円であり、主な減少は、長期借入金5億51百万円、長期未払金1億16百万円であります。その結果、負債は217億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億86百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は134億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億38百万円減少しました。主な減少は、利益剰余金3億14百万円であります。その結果、自己資本比率は37.5%（前連結会計年度末は54.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、平成27年8月17日に公表いたしました通期連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（平成28年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,211,589	7,052,769
受取手形及び売掛金	7,077,799	10,259,561
有価証券	1,035,126	87,607
商品及び製品	147,213	448,759
仕掛品	2,788,163	6,835,369
原材料及び貯蔵品	636,700	923,121
繰延税金資産	241,050	369,168
その他	378,805	1,007,247
貸倒引当金	△11,560	△19,699
流動資産合計	19,504,887	26,963,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,705,236	3,297,131
減価償却累計額	△1,988,841	△2,483,901
建物及び構築物（純額）	716,395	813,230
機械装置及び運搬具	354,276	2,102,351
減価償却累計額	△269,233	△1,569,033
機械装置及び運搬具（純額）	85,042	533,318
工具、器具及び備品	2,381,058	3,036,279
減価償却累計額	△2,059,828	△2,709,530
工具、器具及び備品（純額）	321,229	326,748
土地	2,568,122	3,034,422
リース資産	39,064	134,787
減価償却累計額	△17,237	△80,614
リース資産（純額）	21,827	54,173
建設仮勘定	542,788	632,240
有形固定資産合計	4,255,405	5,394,133
無形固定資産		
のれん	90,753	867,091
ソフトウェア	38,912	56,096
リース資産	28,433	21,737
電話加入権	18,638	19,603
特許実施権	155,000	117,000
その他	31,407	11,133
無形固定資産合計	363,145	1,092,662
投資その他の資産		
投資有価証券	203,071	1,203,438
長期貸付金	92,713	69,032
繰延税金資産	176,458	183,688
長期滞留債権等	68,168	76,104
その他	140,511	277,434
貸倒引当金	△96,768	△104,647
投資その他の資産合計	584,156	1,705,050
固定資産合計	5,202,707	8,191,847
資産合計	24,707,595	35,155,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588,992	10,320,418
短期借入金	1,576,688	5,514,727
1年内償還予定の社債	700,000	400,000
リース債務	16,480	24,089
未払法人税等	265,050	297,844
賞与引当金	217,935	137,260
製品保証引当金	89,241	184,409
未払費用	248,468	428,803
前受金	779	103,987
その他	273,968	458,038
流動負債合計	6,977,604	17,869,578
固定負債		
社債	300,000	600,000
長期借入金	2,430,465	1,878,835
長期未払金	218,228	102,100
リース債務	36,351	54,674
繰延税金負債	71,747	92,892
役員退職慰労引当金	55,570	61,723
退職給付に係る負債	821,345	989,559
資産除去債務	—	48,212
その他	28,436	28,442
固定負債合計	3,962,144	3,856,439
負債合計	10,939,748	21,726,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	7,838,790	7,523,893
自己株式	△646,220	△637,922
株主資本合計	13,531,527	13,224,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,057	44,651
為替換算調整勘定	△30,564	△100,720
退職給付に係る調整累計額	6,875	7,041
その他の包括利益累計額合計	35,367	△49,028
新株予約権	23,631	28,906
非支配株主持分	177,319	224,927
純資産合計	13,767,846	13,429,733
負債純資産合計	24,707,595	35,155,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	10,587,893	17,775,108
売上原価	8,418,904	14,674,026
売上総利益	2,168,988	3,101,082
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	994,415	1,097,709
賞与引当金繰入額	31,358	51,819
福利厚生費	42,841	48,821
賃借料	87,724	99,057
業務委託費	55,229	87,395
研究開発費	225,616	195,498
減価償却費	156,085	175,654
その他	871,266	1,129,259
販売費及び一般管理費合計	2,464,538	2,885,216
営業利益又は営業損失(△)	△295,549	215,866
営業外収益		
受取利息	14,717	13,721
受取配当金	3,882	4,963
投資有価証券評価益	6,767	16,897
為替差益	231,997	25,912
受取賃貸料	9,025	9,422
その他	7,418	12,362
営業外収益合計	273,808	83,278
営業外費用		
支払利息	25,978	32,422
ファクタリング料	70	—
社債発行費	—	6,024
持分法による投資損失	530	27,816
その他	4,564	4,776
営業外費用合計	31,144	71,039
経常利益又は経常損失(△)	△52,884	228,105
特別利益		
固定資産売却益	144	2,058
負ののれん発生益	2,737	—
特別利益合計	2,881	2,058
特別損失		
固定資産除売却損	1,056	9,228
特別損失合計	1,056	9,228
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51,059	220,935
法人税、住民税及び事業税	43,828	431,586
法人税等調整額	△23,703	△127,328
法人税等合計	20,124	304,257
四半期純損失(△)	△71,184	△83,322
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,730	49,802
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,454	△133,124

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△71,184	△83,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,600	△14,345
為替換算調整勘定	75,878	△70,155
退職給付に係る調整額	1,837	165
その他の包括利益合計	96,316	△84,335
四半期包括利益	25,131	△167,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,553	△217,521
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,421	49,862

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3 四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,097,037	3,627,741	863,114	10,587,893	—	10,587,893
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,097,037	3,627,741	863,114	10,587,893	—	10,587,893
セグメント利益 又は損失(△)	127,783	△11,463	△8,876	107,444	△402,993	△295,549

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△402,993千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,694,440	5,996,114	1,084,553	17,775,108	—	17,775,108
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,694,440	5,996,114	1,084,553	17,775,108	—	17,775,108
セグメント利益	104,927	392,384	113,819	611,130	△395,264	215,866

(注) 1. セグメント利益の調整額△395,264千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、日本ガーター株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が4,700,043千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、グループ会社の増加及び会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「産業用エレクトロニクス関連事業」及び「クリーニング関連その他事業」の2区分から、「ディスプレイ関連事業」、「メカトロニクス関連事業」及び「クリーニングその他関連事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。